

平成25事業年度

決算報告書

【 第 10 期 】

自：平成25年 4月 1日

至：平成26年 3月31日

国立大学法人 京都大学

平成 25 年度 決算報告書

国立大学法人 京 都 大 学

(単位:百万円)

区 分	予 算	決 算	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	55,543	56,061	518	(注1)
うち復興特別会計計上分	3	3	－	
施設整備費補助金	15,040	12,678	△ 2,362	(注2)
うち復興特別会計計上分	－	5,431	5,431	
補助金等収入	9,581	13,776	4,195	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	148	148	－	
自己収入	50,822	53,534	2,712	
授業料、入学料及び検定料収入	12,715	12,393	△ 322	
附属病院収入	31,730	33,633	1,903	
財産処分収入	5,618	5,441	△ 177	(注4)
雑収入	759	2,067	1,308	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	29,819	35,335	5,516	(注6)
引当金取崩	－	164	164	(注7)
長期借入金収入	2,560	2,005	△ 555	(注8)
前中期目標期間繰越積立金取崩	1,462	1,106	△ 356	(注9)
計	164,975	174,807	9,832	
支出				
業務費	104,703	103,940	△ 763	(注10)
教育研究経費	76,097	71,016	△ 5,081	
診療経費	28,606	32,924	4,318	
施設整備費	17,748	14,864	△ 2,884	(注11)
補助金等	9,581	13,915	4,334	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	29,819	33,442	3,623	(注13)
長期借入金償還金	3,124	3,110	△ 14	
計	164,975	169,271	4,296	
収入－支出	－	5,536	5,536	

○予算と決算の差異について

- (注1) 当初予算段階では予定していなかった復興関連事業の特別運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が518百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画の一部が翌年度へ繰越となったため、予算額に比して決算額が2,362百万円少額となっております。
- (注3) 当初予算段階では予定していなかった国等からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が4,195百万円多額となっております。
- (注4) 財産処分収入については、前年度からの繰越額2,497百万円を含んでおります。
- (注5) 雑収入については、主として施設使用料収入及び特許料収入、受取利息等により、予算額に比して決算額が1,308百万円多額となっております。
- (注6) 当初予算段階では予定していなかった国等からの受託研究及び受託事業等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が5,516百万円多額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、賞与引当金及び退職給付引当金の取崩を行ったため、予算額に比して164百万円多額となっております。
- (注8) 長期借入金収入については、事業の一部繰越に伴って国立大学財務・経営センターからの借入金の一部を翌年度に借り入れることとなったため、予算額に比して決算額が555百万円少額となっております。
- (注9) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、施設整備等の一部を翌年度に実施することとしたため、予算額に比して決算額が356百万円少額となっております。
- (注10) (注9)に示した理由や教員の定年延長により退職手当の執行額が減少したこと、また学内で戦略的に資金を確保して次年度以降に施設整備等を実施することとしたため、予算額に比して決算額が763百万円少額となっております。
- (注11) (注2)及び(注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,884百万円少額となっております。
- (注12) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が4,334百万円多額となっております。
- (注13) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,623百万円多額となっております。